

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	論理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	永松利文	実務経験と その関連資格	鳥取大学教育センターに勤務			
《授業科目における学習内容》						
正しい思考過程を経て真の認識に達するために、思考の法則・形式を明らかにする学問である。看護実践には科学的根拠を追及する論理的思考ができ、効果的に看護実践に活用する方法を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講師資料						
《授業外における学習方法》						
講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	論理学の基本についてまとめることができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う	
		各コマにおける授業予定	ガイダンス 論理学の基本			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	命題関数について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う	
		各コマにおける授業予定	命題関数			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	推論(演繹)と推測について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う	
		各コマにおける授業予定	推論(演繹)と推測			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	演繹法推論を実際に行なうことができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う	
		各コマにおける授業予定	演繹法推論演習			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループワークで作文を作成することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う	
		各コマにおける授業予定	グループワーク、作文演習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	三段論法型演繹推論について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	三段論法型演繹推論		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	三段論法型演繹推論を実際に行なうことができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	三段論法型演繹推論演習		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	仮言三段論法他		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	帰納法推論の基について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	帰納法推論の基本		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	類比推論、仮説推論について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	類比推論、仮説推論		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	後件肯定演繹推論他 アブダクション推論について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	後件肯定演繹推論他 アブダクション推論		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの項目についての理解を確認することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	練習問題		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	因果肯定、否定、背環について説明することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	因果肯定、否定、背環		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループワークで自分の考えを述べることができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	グループワーク		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業で学習した項目について確認することができる。	講師資料 AV機器	講義資料による予習・復習。授業のまとめを行いグループワーク、の準備を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ		